

研究機関：広島大学

研究課題名	虫垂内進展盲腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の有用性、安全性の検討
研究責任者名	広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中信治
研究期間	2016年 11月(倫理委員会承認後)～ 2019年 3月
対象者	2008/10/1-2018/3/31 の期間に本院にて盲腸腫瘍に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術(endoscopic submucosal dissection; ESD)を施行された患者さん。
意義・目的	盲腸腫瘍に対するESDは、内視鏡の操作が難しく、非常に高度な技術が要求され、また盲腸に存在する虫垂内部へ腫瘍が進展するとさらに難易度が上昇します。そのため、症例数の多い、限られた施設でしか行われておらず、その有用性や安全性に関しては現在のところ明らかになっていません。本臨床研究では、以前から本院で施行されていた虫垂内進展盲腸腫瘍に対するESDの有用性、安全性を検討します。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、部位、最大腫瘍径、肉眼型、内視鏡所見、治療日、治療方法、偶発症です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5537 広島大学病院消化器・代謝内科 クリニカルスタッフ 保田和毅